

公開授業「古代文学論c」 (非常勤講師 家永香織先生)

## 〈歌集を編む〉模擬「竟宴」

「古代文学論c」では、受講生がそれぞれ撰集した歌集の竟宴を、公開授業として行います。「竟宴」とは、講義の完了や勅撰集などが完成した際に催す宴のことで、参列者は完成したものにちなんで詩歌を詠みます。

今回の催しは、元久2年(1205)の『新古今和歌集』竟宴になぞらえて、以下のように行います。

日時：2018年8月2日(木) 13時～15時頃

場所：アカデミック・リンク・センター1階 コンテンツスタジオ「ひかり」

\*ご自由にご観覧下さい。

### 第1部：竟宴をイメージしよう！

藤原定家の『明月記』の記述にならって、竟宴の舞台を設けます。

\*座の配置を敷物で再現し、文台に各自の和歌懐紙を置いて、和歌を詠みます。

### 第2部：歌集の博覧会

受講生の作った歌集をじっくりながめます。

力作揃い、美しい装丁の歌集たちを、とくにご覧ください！

問い合わせ先：文学部 日本・ユーラシア文化コース

柴 佳世乃

shib@chiba-u.jp